

日付	記述	番号
平成24年 9月 6日	IV、Eステージ処分場の漏えいの問題。(埋め立て終了済) 水質検査しているのは、第2処分場ですが、第1処分場のほうも情報公開請求により漏えい可能性がきわめて高いことがわかっています。	⑤
平成24年 11月 19日	Eステージの埋め立て終了の2つの処分場では、情報開示文書を見ましても、処分場からの漏えいが、きわめて疑わしい状態です。 佐久市の長土呂区は水の下流域にあたります。	⑥
平成24年 12月 4日	現在は別会社であるが、Eステージの2つの処分場もフジコーポレーション現会長が作ったものであり、同じ方式で埋め立てており数年後には漏えいの可能性がきわめて高いと思われる。	⑦
平成25年 2月 15日	この当時の小諸市の姿勢、放射性物質が搬入され、隣りにある Eステージ埋め立て終了処分場からの漏えいが強く疑われる	⑧

日付	記述	番号
平成25年 2月 20日	有機フッ素化合物は処分場内の水には多く含まれる場合があり、自然界には存在しない物質で、浸出水と地下水、両方からから検出されれば、100%の確率で漏えいという事だと思います。	⑨
	Eステージ処分場は現在は別会社ですが、造られた当時の責任者は現フジコーポレーション会長であり、3つの処分場の内部構造はきわめて近い物です。2つの埋め立て済み処分場のどちらからも、漏洩の可能性がきわめて高い状態です。	⑩
平成25年 3月 12日	埋め立て済みEステージ処分場の12月の水の検査以降どのように進んでいるのか佐久地方事務所に聞く。驚くべき回答。「その後特になにもしていません。その後検査は業者が定期的に今までの検査をしています。」だと。きわめて黒に近いグレーの結果だが、漏洩の調査を進める気はない。不作為では？	⑪
平成25年 3月 13日	埋め立て済みEステージ処分場の12月の水の検査以降どのように進んでいるのか佐久地方事務所に聞く。驚くべき回答。「その後特になにもしていません。その後検査は業者が定期的に今までの検査をしています。」だと。きわめて黒に近いグレーの結果だが、漏洩の調査を進める気はない。不作為では？	⑫

日付	記述	番号
平成25年 3月 15日	現在、同じ御影区にありますE-ステージ処分場からは、浸出水の地下水への漏えいが強く疑われている状況です。	⑬
平成25年 3月 20日	前にも言いましたが、今のE-ステージの県の対応がそのまま同じ対応となるでしょう。漏れていてもそれを認めない。検査が基準値以下だから漏れていても大丈夫。と言う。	⑭
	採決 賛成多数 反対3 採択となりました。県はE-ステージ処分場に関し問題なしとの立場、合わせて前市長が反対の姿勢だったフジコーポレーション処分場のかさ上げに対しても、市議会として県に慎重な対応を求めていただく。	⑮
平成25年 3月 21日	長野県はE-ステージの処分場に対する対応はこれまで通りと考えているようですが、周辺住民としてそれでは納得しがたい。漏えいの疑いがきわめて高いにも関わらず重金属などの汚染物質が漏れ始めてからどうするか考えると言うのか？それでは遅い。塩化物イオン以外が漏れ出していないうちに対応を。	⑯
	E-ステージ処分場の漏えいについて、県は早急に因果関係を調査すべきとまでは書かなかったので、その辺について県はどう対応してもらえるのでしょうか。	⑰